

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度 第4回入間市児童福祉審議会
開 催 日 時	令和5年11月10日(金) 午前10時00分 開会 午前11時45分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	池田拓
出席委員(者)氏名	神山菊枝、苔縄雅恵、大森洋司、生田由紀子、 千葉弘明、池田拓、岩崎希、土橋秀子
欠席委員(者)氏名	手塚久晴、逢坂信弥、守屋嘉久、田中祐里、 吉川哲夫、桂川泰典、佐藤綾美
説明者の職氏名	保育幼稚園課長 上野順一
会 議 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 保育施設の認可に伴う意見聴取について 4 その他 5 事務連絡 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1人
配 布 資 料	なし
事務局職員職氏名	【こども支援部】 部長 齋藤忠士、次長 守屋俊久 【こども政策室】 室長 園田智慈 【こども支援課】 課長 半田英樹 主事 柳大悟、会計年度任用職員 清水律子 【保育幼稚園課】 課長 上野順一 【青少年課】 課長 中林健
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

- 1 下記の議題について事務局が説明し、審議を行った。
委員からの質疑については、事務局が回答した。

議題

- (1) 保育施設の認可に伴う意見聴取について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
池田会長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>本日の議題に入る。今回の会議録署名人は苔縄委員にお願いする。</p> <p>(1) 保育施設の認可に伴う意見聴取について</p>
池田会長	<p>「保育施設の認可に伴う意見聴取について」を議題とする。事務局から説明願う。</p>
保育幼稚園課長	<p>まずは「保育施設の認可に伴う意見聴取について」、資料に沿って説明する。</p> <p>(資料4-1に基づいて説明)</p>
池田会長	<p>「保育施設の認可に伴う意見聴取について」、事前の意見・質問票の提出はあるか。</p>
保育幼稚園課長	<p>資料4-1において、手塚委員より意見・質問票の提出があった。内容は3つに分かれており、1つ目は、利用定員の設定について、現状の利用者数に合わせて利用定員を60名にするということが良いのではないかという意見であった。</p> <p>2つ目は、民間保育園への移行後の定員について、このような定員に設定した根拠を教えてほしいという質問であった。国の基準では0歳児については、こどもが3人に対して保育士を1人配置する必要がある。しかし、余裕を持った保育を行いたいことから0歳児の定員を4名から2名へと減らしたと法人側から聞いている。ただし、0歳児と同じ3号認定である1歳児と2歳児の定員を増やすことで、3号認定全体で見ると定員の増減がないようにしている。そのため、利用定員の90名から60名への変更は2号認定を減らすことで調整したとのことである。</p> <p>3つ目は、各年齢の定員の内訳に関するものであり、内容は次のとおりである。国の基準ではこどもと保育士の比率は、0歳児は3人のこどもに対して保育士が1人、1歳児と2歳児は6人のこどもに対して保育士が1人、3歳児は20人のこどもに対して保育士が1人、4歳児と5歳児は30人のこどもに対して保育士が1人配置する必要がある。手厚い保育を行うために、1歳児については4人のこどもに対して1人の保育士を配置すると埼玉県から補助金が交付される。これらを踏まえると0歳児を3人、1歳児を8人、2歳児を10人、3～5歳児を13人ずつとして定員を設定すると利用定員は60人となる。0歳児を預けたい保護者のニーズや本市では1歳児の待機児童に対応するために0歳児と1歳児の定員を増やすことが望ましく、現在の案よりも1歳児を手厚く保育することができる。また、3～5歳児の定員を13人としても、保育所定員の弾力化により、現在、在籍している14人</p>

発 言 者	発 言 内 容
池田会長	<p>の3歳児が進級しても継続して通うことができるため、このような利用定員の設定を検討してはどうかとの意見であった。この意見を法人に伝えて、再度、利用定員について検討していただくこととしたい。</p> <p>公設民営の保育所を廃止し、民設民営の保育園を新しく設置するにあたり、審議会から意見を聴取した後に、認可を受けるために埼玉県に申請を行うものである。委員から他に意見はあるか。</p>
岩崎委員	<p>地域子育て支援拠点には3歳未満のこどもと保護者が多く来るが、今の時期は入所を検討している人が多い。その中で0歳児や1歳児のこどもがいる保護者から、入所することが難しいといった話や実際に入所できなかったといった話をよく聞く。そのようなことを考えると、新しく設置する施設では0歳児や1歳児の定員を増やしていただけるとありがたい。</p>
池田会長	<p>0～2歳児の定員が多いことも重要であるが、年齢があがるにつれて定員の増加もしくは現状維持をする必要がある。そのようにすることで、きょうだいにおいて上のこどもが通いながら下のこどもが同じ保育所に通える環境を整えられる。</p>
苔縄委員	<p>現在の黒須保育所は特徴的な施設であり、異年齢交流がしやすい施設である。待機児童が減ることが何より重要であるが、事故がなく安心して預けられることも重要であるため、法人の考えも尊重したい。</p>
池田会長	<p>ほふく室等の設備の基準は確認しているのか。</p>
保育幼稚園課長	<p>現在は公設民営の保育所として指定管理をしていることから、毎年、監査をして、基準を満たしていることを確認している。</p>
千葉副会長	<p>現状の利用定員に合わせて、新しく定員を設定することは理解できる。しかしながら、利用定員の内訳については、手塚委員の意見にあった案の方が効率的な保育ができ、需要の多い1歳児をより多く保育することができるため、納得できる。3歳未満児は潜在的なニーズも含めて、需要が多いと思われるので0歳児を増やしてほしいという意見にも賛成できる。</p>
池田会長	<p>今回、各委員から出た意見を本審議会からの意見として、法人と調整のうえ、申請を進めていただきたい。</p> <p>他に意見がないようなので、議題（1）「保育施設の認可に伴う意見聴取について」は以上とする。</p>
千葉副会長	<p>以上で閉会とする。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 5 年 12 月 14 日

議 長 の 署 名

池 田 拓

議長が指名した者の署名

苔 縄 雅 恵